

亀山御坊永代経法要の二ころ

本徳寺では下記の通り、永代経法要が勤められます。「永代経」という名のお経が別にあるわけではありません。仏の願いに目覚めた人が尊いみ教と仏のお徳を子々孫々に伝えるために勤める法要です。

死別を縁に人の命のありように行く末を仏の願いの中に見出した人が、故人に代わって布施行をつくし、仏徳賛嘆の行に自参して故人との関係を成就させる浄土真宗独特の営みです。さらに、この行事を通してより深く仏法を聞く機会に出会うことが肝心です。

礼讃文にこうあります。「人身受け難し、今既に受く。仏法聞きがたし、今已に聞く。この見今生に向かつて度せずんば、さらにいずれの生に向かつてか、この身を度せん」。人に生まれることはまれなる縁であり、仏法を聞き仏になることはさらに難しいことです。「棚からぼた餅」ですら口を開けなければ餅は口には入りません。仏法を聞くことも同様です。

このように永代経法要はわが子わが孫は勿論、一人でも多く方々に気付いてほしい、という仏縁のあつた先達の永代の思いに支えられているのです。

下記の通り永代経法要を修行いたしますので謹んでご案内申し上げます。

合掌

亀山御坊永代経法要日程

四月十三日(土)・十四日(日)

午前七時半 晨朝勤行 本堂・蓮如堂
午後一時 永代経法要 本堂

導師 本徳寺 大谷昭仁師
布教 西願寺 佐々木大観師

お説経は、お勤めの後、蓮如堂で聴聞します。

蓮如忌法要のご案内

四月初旬、境内のサクラが満開になり、散つていきます。花命の短さを直視して永代経法要が勤まります。ツツジが咲く頃、五月十二日には蓮如上人のご法要です。境内に梅檀の香りが漂う頃、この頃にはコロナへの過敏な反応も落ち着きを見せているかも知れません。是非とも仏縁にお合いください。

個別納骨壇利用のご案内

亀山本坊で自己管理型の納骨壇の利用が出来ます。ご希望の方は左お問合わせ下さい。

問合先・本徳寺寺務所・電話(235)0242